

## 育 Me 科 学習指導案 「おこっているわたし」

○ねらい

怒っているときの体や表情や言葉づかいの特徴を理解し、適切な怒りの表出方法があることを知る。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入 8分	<b>1 あいさつ</b> <b>2 学習内容の理解</b> ○どんな時に怒るかを考える。 ・けんかをしたとき ・叩かれたとき ・物をとられたとき ○怒った時に、どんなふうに相手に伝えているか振り返る。 <b>3 本時のめあての掲示</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             おこっているときの気持ちを上手につたえよう。           </div>	・だれでも怒ることはあると受容的に児童の言葉を受け止める。 ・怒っているときの気持ちが相手にうまく伝わっているのか考えさせ、上手な伝え方を身にけたいと思えるようにする。	・「おかめあいさつ」を確認してから挨拶をする。できている児童を褒める。
展開 30分	<b>4 怒っているときの特徴の理解</b> ○怒ったらどんな顔になるのか考える。 <b>5 怒っているときのレベルを理解する。</b> ○怒りレベル1～3を示し、提示した場面に対して、自分だったら怒りレベルはいくつになるか考え、怒りを表現する。 <b>6 モデリング</b> ○突然消しゴムを取られたツトム君の怒り(レベル2)の表現方法をモデリングで提示する。※①(机をたたく)②(どなる)③(我慢する) ○どの表現方法が適切か考える。 ・どれもよくない ・言葉で伝えたほうがいい 「使う前に一言言ってね」「返してちょうだい」 <b>7 ロールプレイ</b> ○ペアになり、ツトム君の場合を演じる。	・「ふっくん」ボードを提示し、顔パーツを張り付けて表情を作る。 ・怒ったときの特徴(眉間にしわがよる、声が大きくなる、こぶしをつくるなど)をおさえる。 ・同じ状況でも、人によって感じ方や怒りの強さが違うことをおさえる。 ・怒りの強さによって、顔や声の大きさも変わることをおさえる。 ・どれも適切ではないことをおさえる。特に、我慢をしすぎることもよくないことを伝え、どんな気持ちでも表していること、表し方にはコツがあることを伝え、どんな言い方をするといいか考える。 ・冷静に言葉で気持ちを伝えているペアを認める。	・言われた側の気持ちはどうだったか振り返り、言葉で伝えることのよさを共有する。
まとめ 7分	<b>7 ふりかえり</b> ・感想を振り返りシートに書く(3分)。 ・感想を発表し、交流する。 <b>8 あいさつ</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【出口での児童の意識】</b>              怒りにはいろんなレベルがあるが、相手には言葉で伝えるといいことが分かり、日常の生活でも実践していこうと思えることができる           </div>	

【準備するもの】 ・場面絵①② ・気持ちカード ・振り返りシート